

地域医療連携室だより

Vol.35

発行 平成 24 年 5 月
発行元 大津市民病院地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号
TEL 077-526-8192
URL: <http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>



地域医療連携室人事異動のご案内

平成 24 年度新体制として地域連携のますますの充実を図るため、3 名の先生と相談員 1 名をスタッフに迎えることができました。なお、緩和ケアを担当しておりました大岩は看護局に異動しました。（緩和ケア予約は病診連携システムを用い地域医療連携室でたまわります。）



青木 悦男 副院長
地域医療連携室次長

今年度より、地域医療連携室次長として病診連携に携わることとなりました。これまでも診療局長および放射線科部長として先生方には色々とお世話になりましたが、引き続きよろしくお願いいたします。

6 月より待望の 3.0T MRI が本格稼働いたします。従いまして、MRI は 2 台体制となり、予約待ち時間の短縮が可能になります。ただし、脊椎 MRI に関しては、1.5T MRI のほうが画質がよいので、従来どおり 1.5T MRI で検査させていただきます。その他の部位は原則、3.0T MRI で検査させていただきます。各種画像診断に関しましても、優先枠を設定いたしますのでご利用いただきますようお願いいたします。

また、懸案となっております『ご御紹介患者さんの診察枠』についても、早急に院内調整をし、実現させたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



高見 史朗 先生 兼
地域医療連携室参事

この度、地域医療連携室参事を拝命しました高見です。平成 9 年に当院に赴任後の 15 年間、地域の先生方やスタッフの方々に色々とお世話になり、医療機関間の連携の重要性を認識しています。「垣根を低く」、「風通しを良く」、両方向的なコミュニケーションを十分に行うことにより、「連携ツール」が自然発生してくるような実のある連携ができればと考えています。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



加納 正人先生 兼
地域医療連携室参事

4 月より地域医療連携室参事を拝命した加納です。臨床医としての研鑽に夢中であったこれまでですが、ここ数年、栄養サポートチームの仕事を通じて早期栄養介入・prehabilitation を含む早期リハビリテーションに加えて、早期の地域医療連携室の関与によるゴールを見据えた入院治療の必要性を痛感しておりました。社会は高齢化して行くので、医療の効率化を進めて行かなければ社会が医療を支えきれず、良質な医療の提供ができなくなります。この流れの中で、それぞれの医療機関が機能分化してネットワークを構築することで地域全体として従来のいわゆる総合病院的な機能を発揮するよう要求されています。チームワークのとれたシームレスな地域医療連携はこれからの地域社会が備えるべき基本的な機能の一つではないでしょうか？当院が、急性期病院として有効に機能を発揮するためには亜急性期病院・回復期リハビリテーション病院、地域の診療所の先生方および介護サービスとの有機的な連携が欠かせません。また、患者様をご紹介いただくにおいては、患者様から選ばれ望まれる病院であり続けるよう、良質な医療の提供を心掛けて参ります。

と、この辺りまでは概念的に理解していましたが、現場に立つとなると厚生労働省や滋賀県、大津市などの具体的な施策の中で動かねばならず、ゲームの観客席からルールを熟知しないままプレーヤーとしてフィールド(グラウンド?ピッチ?)に引っ張りだされた気分です。地域医療連携についてはルーキーなのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ご案内

3.0T MRI 6 月 1 日より稼働いたします。
ご予約は地域医療連携室でたまわります。